



神谷 利盛 議員

地域農政総合推進事業 について

問 ジャンボ落花生推進事業(H30年度終了)の総括と自己評価は。

答 委託料として、総額107万9千円支出。平成30年度売上約392万円、耕作面積約140ア

ール(当初計画に対し、達成率78%)。高収益の作物であるジャンボ落花生を、地元農家が生産する基盤づくりができたと評価している。



高浜市まち・ひと・しごと 創生総合戦略(改訂版) —NEXTたかま—について

問 地域少子化対策重点推進交付金事業(結婚につながる出会いの創出事業)は、今期に継続されていないが、やめた理由及び自己評価は。

答 3回の研修とイベントを実施し、38万



小嶋 克文 議員

風水害対策について

問 避難勧告は、災害から身を守るためには欠かせない情報であるが、昨年台風24号の本市の避難状況は。

答 高潮による浸水等が危惧されたため、市内の一部に避難勧告等を発令した。

対象世帯は4,358世帯、9,813人のうち、70世帯、136人が避難した。

問 「避難しなければならぬ」と思えるような、避難勧告の仕組みが大事ではないか。

答 従来の防災メールに災害別リスクメールを加え、「稗田川洪水」、「堤外地」、「土砂災害警戒区域・急傾斜地崩壊危険箇所」、「沿岸部企業」の4種類の専用メールを6月から運用。

問 ハザードマップが十分周知されず、甚大な被害が起きている。現在のハザードマップは15年経過しているが、新しいハザードマップの作成予定は。

答 本年度中に愛知県から、「稗田川浸水想定」

1,000円を支出した。結果、16組のカップルが成立したが、まだ結婚までには至っていない。今期は国からの補助金も出ないことから、高浜市婦人の会結婚相談部へ移管することにした。自己評価としては「○」と思っている。

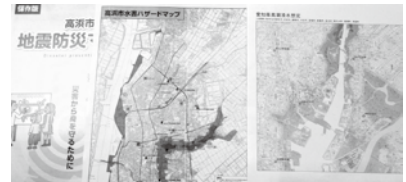
問 創生戦略③に、「将来への希望に満ち溢れた子どもを育むまち」とある。当市の誇れることは何か。また、具体的に何を計画しているのか。

答 育てていきたい子どもの姿推進事業、高浜カリキュラム推進事業、異校種間連携推進事業に取り組んでいる。活用型カレンダーの作成や、「ひと・もの・こと」にスポットを当てたカリキュラムの作成、異校種間の相互交流等を実施した。来年度から実施される英語教育や、プログラミング教育にも力を入れていく。

問 企業誘致事業に関連。自動車のEV化、FCV化の動きに対し、地元企業の現状、今後の動向についてどう把握しているか。

答 市としては、生産性向上特別措置法に基づく認定支援を行うことで、自動車業界の産業構造の変化に向けた対応の後押しをしていく。

が公表される予定であり、令和2年度に新しいハザードマップを作成する予定である。



空き家対策について

問 高浜市では、本年3月に「高浜市空家等対策計画」を策定したが、「空き家を解体したいが、費用の支出が困難である。」と答えている人が多く見える。空き家対策の一つとして、解体費用の補助制度の検討が必要ではないか。

答 「高浜市空家等対策推進委員会」で、空き家等対策計画の推進を進める上での協議事項として検討していただく予定。

問 空き家を、「賃貸・売却」などで手放したい方も多数見えるが、相手が見つからないことがアンケート調査に出ている。空き家バンク制度の創設の検討は。

答 他市との情報交換を進めながら、愛知県宅地建物取引業協会碧海支部とポータルサイトの開設に向けた協議を進めることを予定している。